



千葉県立中央博物館 令和7年度 秋の展示

水辺の昆虫

令和7年 **10/18** (土) *-*-* **12/21** (日)

※生体展示は10/11 (土)~12/21 (日)

開館時間 9:00 ~ 16:30 (最終入館 16:00)

休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

料 金 一般 300 円 (240 円)・高大生 150 円 (120 円) () 内は団体料金 (20 名以上)
中学生以下・65 歳以上・障害者手帳等をお持ちの方及び介護者 1 名は無料 生態園は入園無料

協 力 鴨川シーワールド、千葉県生物多様性センター、NPO法人行徳自然ほごくらぶ

千葉県立中央博物館

NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

〒260-8682
千葉県千葉市中央区青葉町955-2
TEL:043-265-3111
FAX:043-266-2481



水辺には、驚くほど多様な昆虫がくらしています。

田んぼや池、川、海岸などの環境に適応した水辺の昆虫の姿を、標本と生体展示を通して紹介します。

水辺に広がる小さな命の世界を、ぜひお楽しみください。

水辺の昆虫のかたち

水辺でくらす昆虫たちは、泳ぐ・潜る・浮かぶなどのために、陸上の昆虫とは異なる独特な体のかたちをしています。

このかたちに注目すると昆虫のくらしがもっと面白く見えてきます。

絶滅危惧種の保全

千葉県と北陸地方にのみ生息するシャープゲンゴロウモドキ。

県内で行われている保全活動の様子や、本種の特徴について紹介します。

トンボコレクションを公開

昨年度、枝氏から寄贈されたトンボコレクションには、千葉県ではすでに絶滅してしまった種も含まれています。

貴重なトンボ標本の数々を、今回初めてお披露目します。

生きた昆虫も展示！

タガメ、ゲンゴロウ、ガムシなどを水槽で生体展示。水中を泳ぐ姿や呼吸のようすなど、水辺でくらす昆虫のリアルな姿を間近で観察できます。

※生体展示の会場は生態園オリエンテーションハウスです（10/11～12/21）。

関連行事

詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

中央博 × 鴨シー 水生昆虫の保全現場を見学しよう

鴨川シーワールドが行っている水生昆虫の保全現場を見学します。

11/9（日） 13:00～15:00

定員 24 名 | 事前申込制（抽選）

場所 | 鴨川シーワールド

料金 | 保険料 50 円 + 鴨川シーワールド入場料

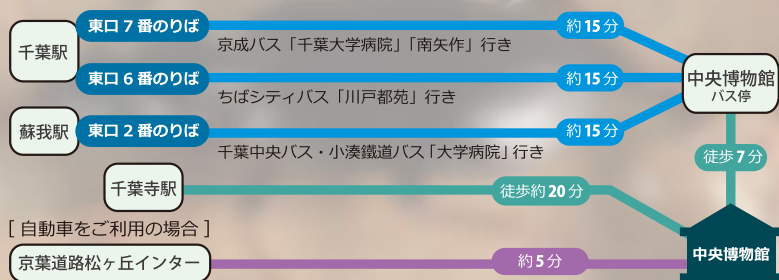
ミュージアムトーク

研究員による展示解説です。

10/18（土）、25（土）、11/3（月・祝）、23（日・祝）、12/7（日）、20（土） | 各日 11:00～、14:30～（30 分程度）

定員なし | 当日申込制

料金 | 入館料



- JR 千葉駅東口から、バス約 15 分「中央博物館」下車 + 徒歩約 7 分
- JR 蘇我駅東口から、バス約 15 分「中央博物館」下車 + 徒歩約 7 分
- 京成千葉寺駅から、徒歩約 20 分
- 自動車の方は「青葉の森公園北口駐車場」（有料）をご利用ください

